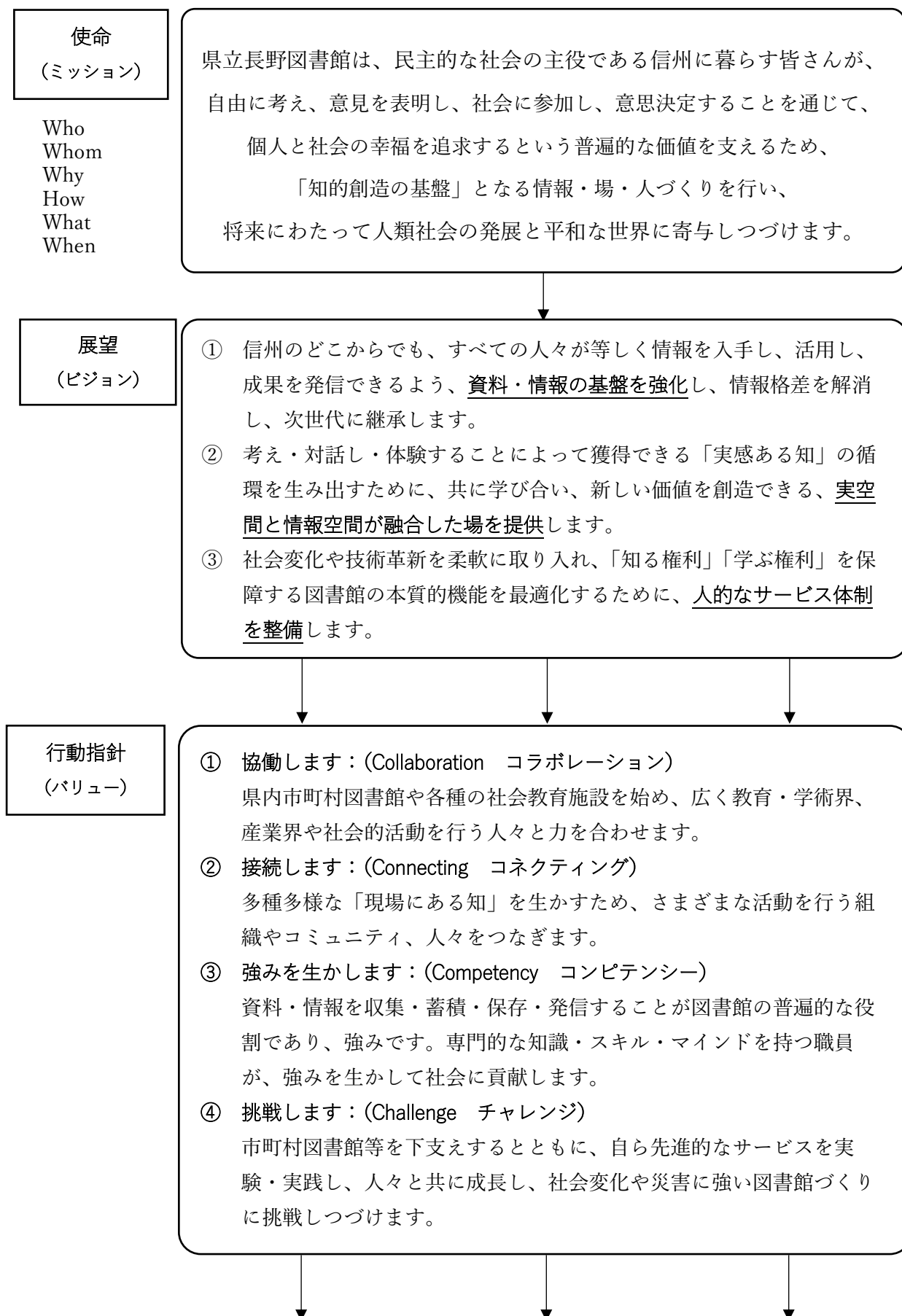
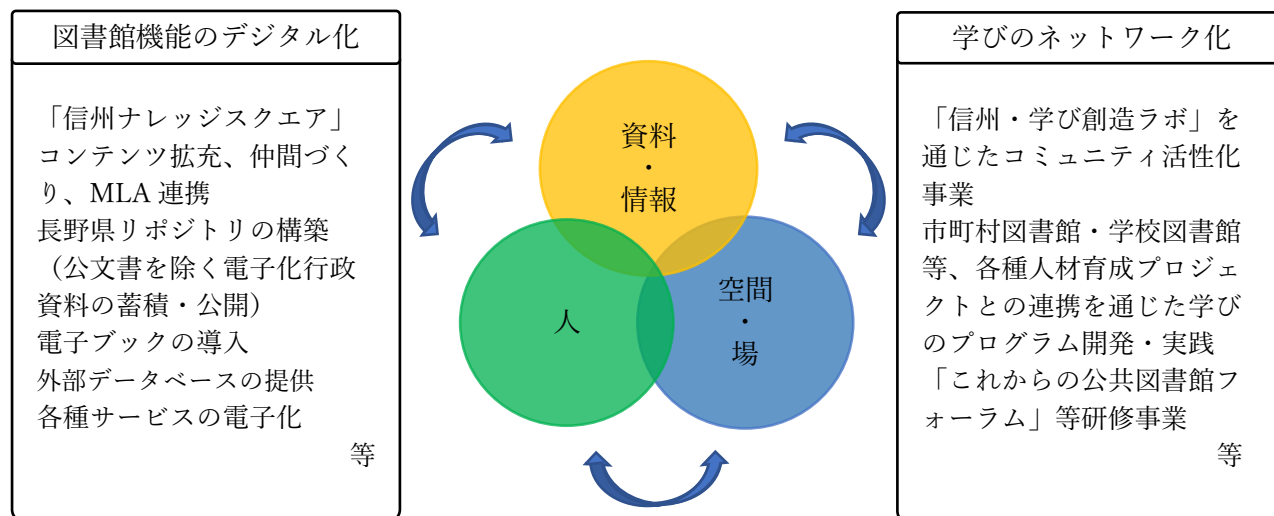


「県立長野図書館の使命」(仮称・たたき台)



行動計画
(アクション)



県立長野図書館の使命（仮称・たたき台）について

（１）作成の意図

- 前平賀館長時代の改革事業（2015 年～2019 年）は、「情報」の改革、「人」の変革、「場」の革新という、3 つの柱で推進されました。館長職を引き継ぐにあたり、改革事業で目指した方向性を継承し、発展させていく拠り所として、「県立長野図書館の使命（仮称）」を策定することとしました。
- 基本的な考え方は、「憲法（1946 年公布、1947 年施行）」に基づく法体系「教育基本法（1947 年制定、2006 年全面改正）」「社会教育法（1949 年制定）」「図書館法（1950 年制定）」、日本図書館協会による「図書館の自由に関する宣言（1954 年採択、1979 年改訂）」、「公立図書館の任務と目標（1989 年確定公表、2004 年改訂）」、及びユネスコによる「公共図書館宣言（1994 年）」等に基づいています。

(2) 構成と位置づけ

- 「使命（ミッション）」「展望（ビジョン）」「行動指針（バリュー）」「行動計画（アクション）」の4つで構成されています。
 - 「**使命**」：将来にわたる普遍的な価値を、県民への約束として表明するものです。社会変化や技術革新によっても不変の理念として、100年スパンの将来を見据えています。
 - 「**展望**」：「使命」を果たすための具体的な機能・要件を、「資料・情報」「空間・場」「人」の3つの枠組みで示したものです。おおよそ30年後の2050年（「図書館法」制定から100周年にあたる）までのスパンで考えています。
 - 「**行動指針**」は、「使命」「展望」を実現するために、図書館及び図書館職員がとるべき手段を4つの要素にまとめたものです。10年程度のスパンで考えています。
 - 「**行動計画**」は、長野県の総合5か年計画『しあわせ信州創造プラン2.0～学びと自治の力で拓く新時代～』と連動し、次期計画への橋渡しを念頭に置きつつ、現館長の任期中（予定：2020年～2023年）に実施する主な事業を列挙しました。5年程度のスパンで策定すべきものと位置付けています。

「図書館機能のデジタル化」と「学びのネットワーク化」を2本の柱として情報・場・人づくりを実践し、「学びの機会を止めない環境の整備」と「次世代への継承」を目指します。

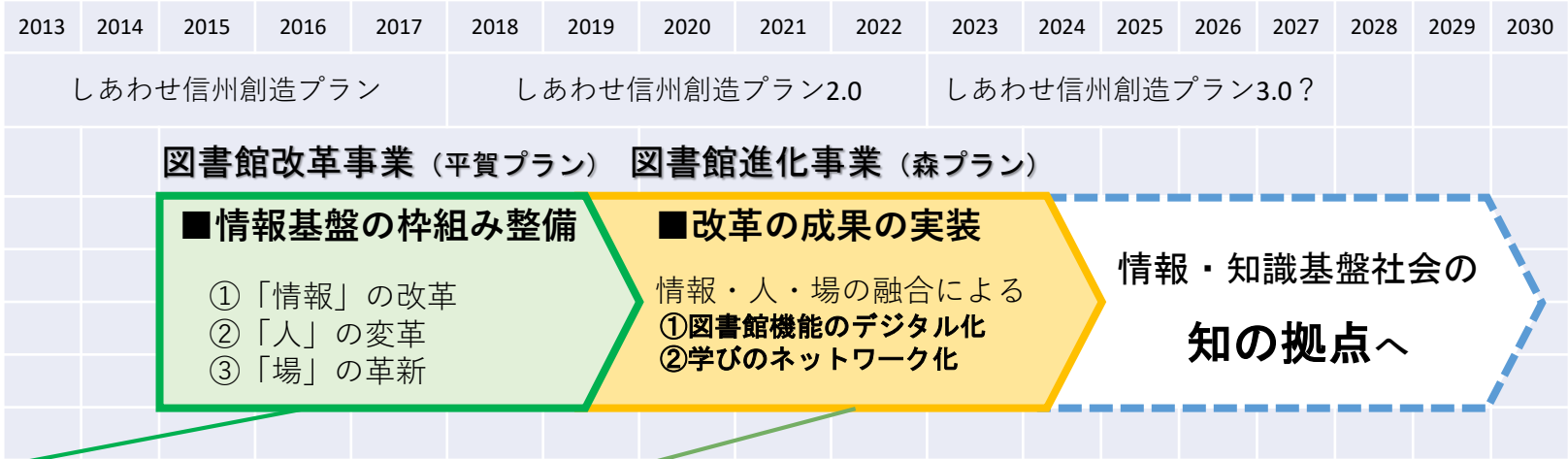
※参考資料の「長野県 eLibrary 構想（たたき台）」は、県立長野図書館が実施する事業を「デジタルの観点」からまとめた図です。最近のトレンドで言えば、いわゆるDX（デジタルトランスフォーメーション）を図書館に当てはめたものです。

DXとは、提唱者であるストルターマン氏の定義によると、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」ことです。

ウイズコロナ時代の自治体改革のキーワードとしても出てきています。
- 今後の進め方：
 - 今回の「協議会」の審議を経て、パブリックコメントを募る等の手段によって、県民に開かれたものにしたいと考えています。
 - 2021年1月～始まる次期協議会において継続的に審議を行い、2020年度内に決定し、2021年当初に公表することを目標としています。
 - 完成後、英語版も作成し、国内外に発信したいと考えています。

県立長野図書館の役割・目指すべき方向性

「しあわせ信州創造プラン2.0～学びと自治の力で拓く新時代～」の実現方策としての
「図書館改革」→「図書館進化(深化)」へ



【情報の改革】

- ▶「信州ナレッジスクエア」構築
- ▶「信州 知の連携フォーラム(MLA)」

【人の変革】

- ▶これからの図書館フォーラム開催
- ▶図書館員の学び合い・連携の場づくり

【場の革新】

- ▶「信州・学び創造ラボ」整備
- ▶ネーミングライツ制度活用

等

●図書館機能のデジタル化

- ▶電子ブック導入・活用・普及
- ▶信州ナレッジスクエアを活用した地域アーカイブ活動推進

●学びのネットワーク化

- ▶MLA連携を核とした知のインフラ整備
- ▶リテラシープログラムの開発・県内図書館への展開

・県民が等しく
情報にアクセス
できる基盤を整え
充実させていく

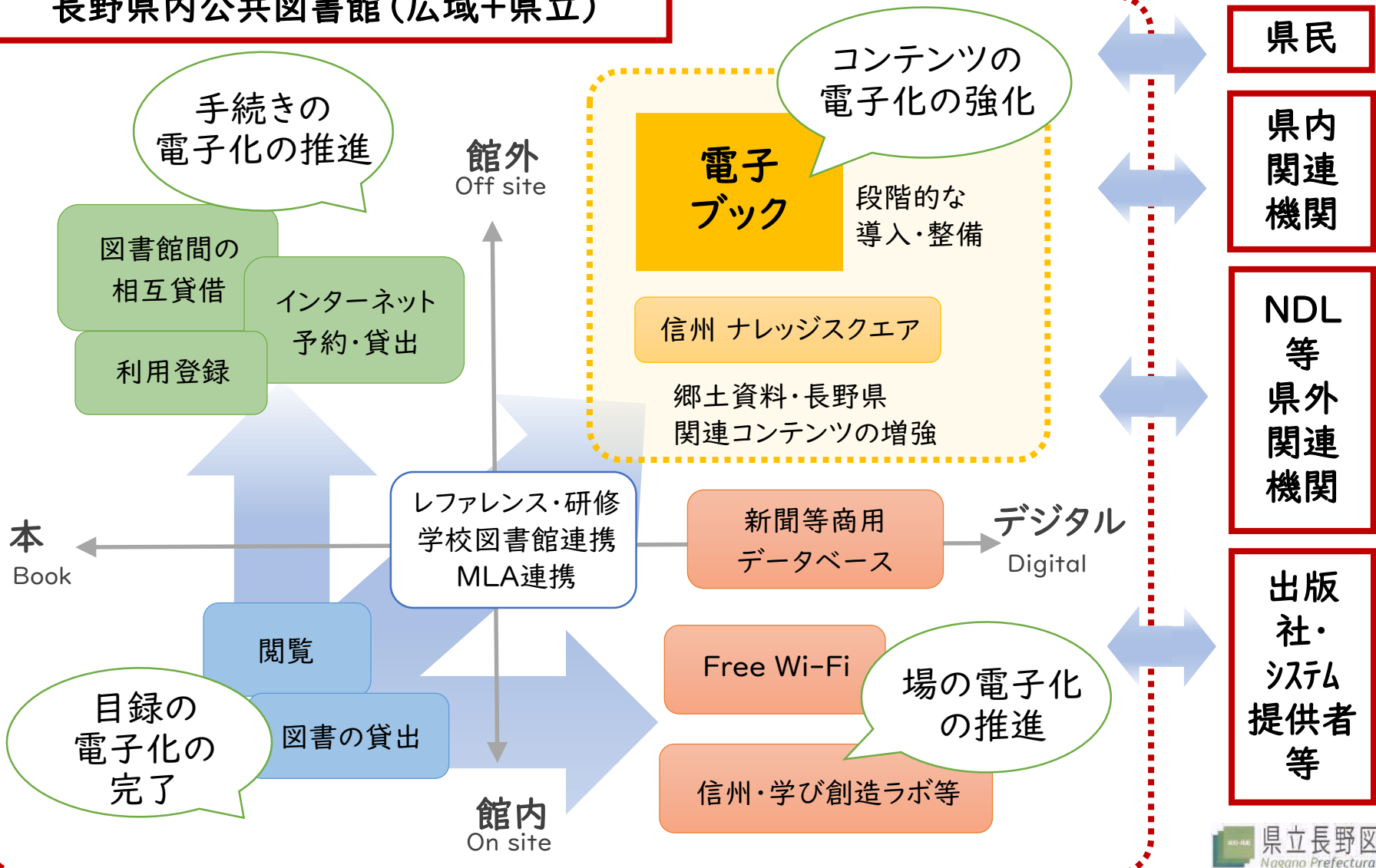
・情報リテラシー
 を身に付けられる
 仕組みをつくる

図書館事業をデジタルの観点でまとめた図

2020/10/24

長野県eLibrary構想(たたき台)「図書館機能のデジタル化」「学びのネットワーク化」

長野県内公共図書館(広域+県立)



資料 3 - 3

I 組織概要

1 組織目標

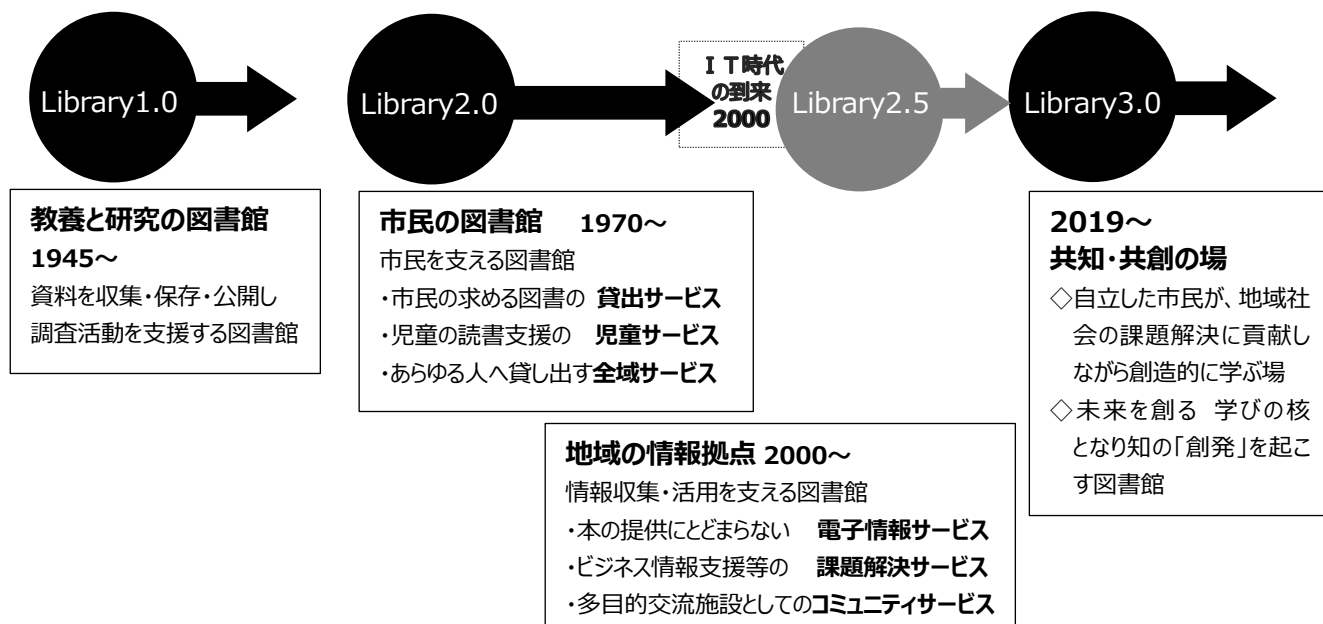
(1) 県立長野図書館の目標

- すべての県民に寄与する県立図書館として、市町村立図書館等と共にこれからの公共図書館のあり方を検討します。（共創）
- 知識基盤社会に不可欠な情報基盤としての図書館にふさわしい情報の持ち方、提供の仕方、使い方支援の場を実現します。

(2) 県立長野図書館の目指す姿

資料の収集・収蔵資料を提供する「本の館」から「情報の拠点」へ、共知・共創の場

- 「情報」の改革、「人」の変革及び「場」の革新により、県全体の図書館サービスの中核たる県立の図書館として、県内の公共図書館とともに、情報・知識基盤社会における多様な県民の「情報の拠点」としての役割を果たします。
- 公共図書館や県民の皆さんと対話し、“これからの図書館像”の実現を目指します。



(3) 県立長野図書館の取り組み

“これからの図書館像”の実現を目指して

